

「学校の活性化に役立つ学校評価の取り組みについて」

－ 23年度の学校評価実践計画－

もくじ

1. 学校規模・学校評価研究構想図・・・・・・・・・・・・・・・・P.1
2. 学校評価の概略と実践のポイント・・・・・・・・・・・・P.2
3. 研究経過（本年度の計画）・・・・・・・・・・・・・・P.3

平成23年5月17日（火）

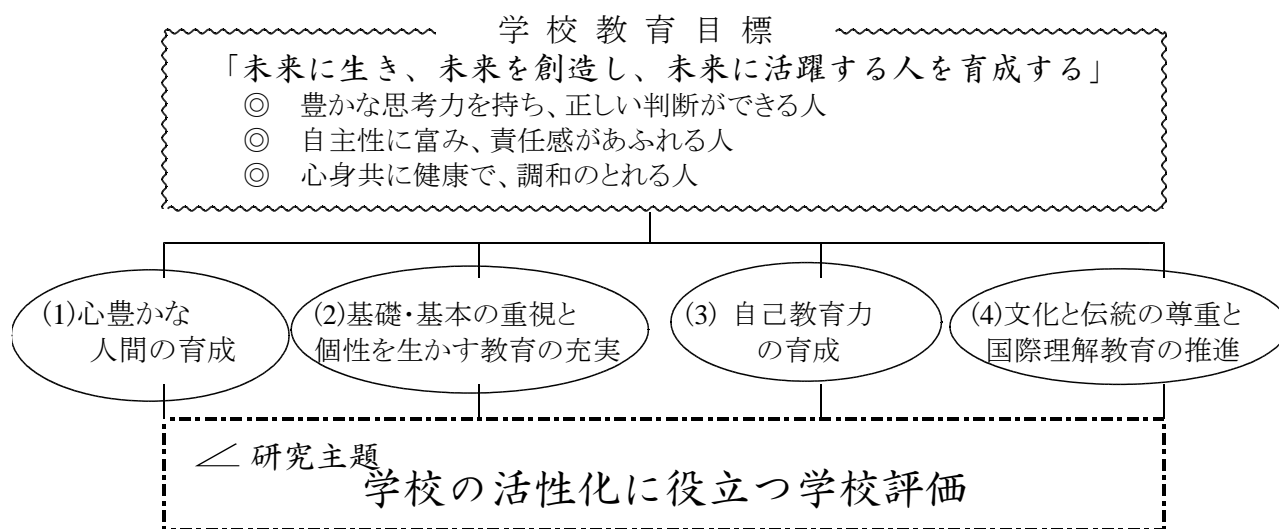
川崎市立有馬中学校

1. 学校規模

平成23年5月17日現在

学年	1年	2年	3年	個別級	計	教職員数
学級数	7	7	8	5	27	60名
生徒数	280	249	281	17	827	

学校評価研究構想図



重点目標と取り組みたい課題

- (1) 学年・学級経営の充実を図る
 - ① 具体的な学年・学級経営計画をたてる。
 - ② 生徒が相互の存在を認め合い、人間的なふれあいを大切にする学級・学年経営を行う。
 - ③ 話し合い活動を基盤にした、楽しくともに学びあえる学級・学年経営を行う。
 - ④ 生徒の活動場面に積極的に関わり適切な指導・支援を行う。
- (2) 教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動指導の充実を図る
 - ① 移行内容を踏まえた各教科・領域の指導計画を立案する。
 - ② 基礎・基本を重視し、わかる授業、興味関心が持続する授業を展開する。
 - ③ 地域・生徒の実態を基盤とした道徳教育・生徒指導を行う。
 - ④ 話し合い活動ができる、授業を展開する。
 - ⑤ 時間を有効に活かせるよう、自己教育力を啓発する。
- (3) 教職員の協力体制と研修の推進を図る
 - ① 報告・連絡・相談を徹底する。
 - ② 教育の専門職としての責務を全うする。
 - ③ 教職員相互のみがきあいにより指導力の向上を図る。
 - ④ 目的を重点化した校内研修を実施する。
- (4) 教育環境整備の充実を図る
 - ① 点検活動を励行し、安全で健康的な教育環境の維持管理を図る。
 - ② 校舎内外の整備と美化を心がけ教育効果の向上を図る。
- (5) 公教育の信頼性をより高める
 - ① 教育課程や学校運営組織について、説明会等を開き、保護者や地域の理解を深める。
 - ② PTA活動に積極的に関わり、保護者との連携を図る。
 - ③ 内部および外部の学校評価をもとに学校運営の改善に努める。

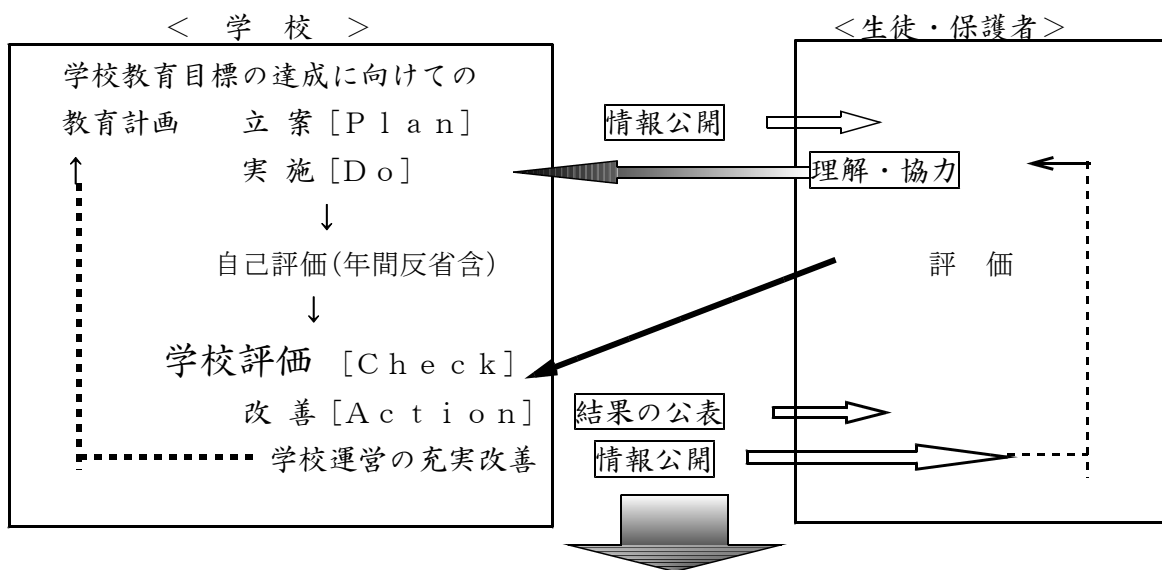
2. 学校評価の概略と実践のポイント

17年度から、教職員・生徒・保護者等がお互いに理解し合い信頼を高め合うような学校評価システム作りをめざしてスタートした。

○ 実践のポイント

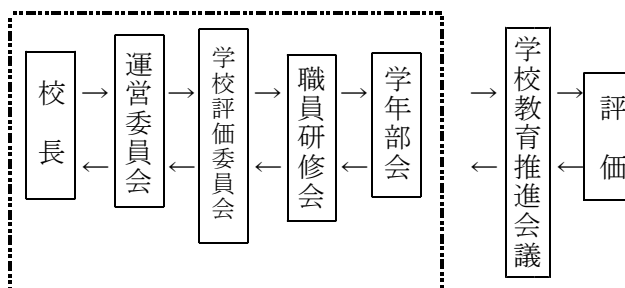
- ・学校教育目標の具現化を図る経営方針に基づいて、各学年、校務分掌、各教科で具体的方策を設定し、その実践に努める、
- ・評価が適切に行われるように、今年度の重点目標と具体的方策、そして学校の教育活動やその意図について、教育課程説明会や、学年学級懇談会、学校便り、学年便り等でわかりやすく積極的に公開し説明する。
- ・学校評価のねらいと意義について、職員研修会等を行い共通理解を図る。
- ・各行事の後の評価に加えて、公開授業の評価も実践する。
- ・今年度は11月、生徒・保護者を対象に学校評価を行う。
- ・学校評価の結果を公表するとともに、次年度学校運営計画に反映させる。

学校評価システム



学校の活性化(信頼される学校づくり)

○ 評価体制



評価体制を充実させることにより全職員が、学校評価を真摯にとらえ、「評価を生かす」という前向きで開かれた姿勢が生まれ、様々な角度から自分を振り返り改善していこうとする意識が生まれる。

平成23年度 学校評価計画

月	学校行事	内 容	学校教育推進会議
4月	・授業参観 ・部活動説明会 ・新体力テスト	・評価計画の作成	
5月	・家庭訪問 ・PTA総会 ・生徒総会 ・授業公開(北高校)	・PTAへの説明(総会時) ・共生・共育プロ効果測定の実施 ・自己評価シートの作成	学校教育推進会議①
6月	・修学旅行 ・定期テスト ・校内マラソン大会 ・2年校外学習	・学習指導研究会(特活)	
7月	・三者面談	・保護者や生徒からのヒアリング ・学校教育推進会議開催	
8月	・校内研修会		
9月	・定期テスト ・体育祭 ・市総体 ・生徒会役員	・体育祭時、アンケート実施	

月	学校行事	内 容	学校教育推進会議
10月	・三者面談 ・弁論大会 ・文化祭 ・連合文化祭 ・合唱コンクール	・保護者や生徒からのヒアリング ・合唱コン時、アンケート実施	
11月	・授業参観、バザー ・市診断テスト ・定期テスト ・3年進路面談	・学校評価アンケートの実施 ・授業参観アンケート実施	学校教育推進会議②
12月	・新入生説明会 ・授業参観、懇談会	・学校評価アンケートのまとめ ・保護者や生徒からのヒアリング	
1月	・2年職業体験 ・3年学年末テスト		
2月	・1年自然教室 ・生徒総会	・学校評価報告書の作成	学校教育推進会議③
3月	・3年生を送る会 ・卒業式 ・三者面談		

学校教育目標

『未来に生き、未来を創造し、未来に活躍する人を育成する』

- ・豊かな思考力を持ち、正しい判断ができる人
- ・自主性を持ち、責任感あふれる人
- ・心身共に健康で、調和のとれる人



「生きる力」の育成

重点目標

- ① 学年・学級経営の充実
- ② 教科・道徳・総合・特活指導の充実
- ③ 教職員の協力体制と研修の推進
- ④ 教育環境整備の充実
- ⑤ 公教育の信頼性をより高める

教科指導の充実

※いよいよ来年度から、新しい教育課程がスタートします。

キーワードは「言語活動の充実」

→ 人に伝えることや聴くことを重視

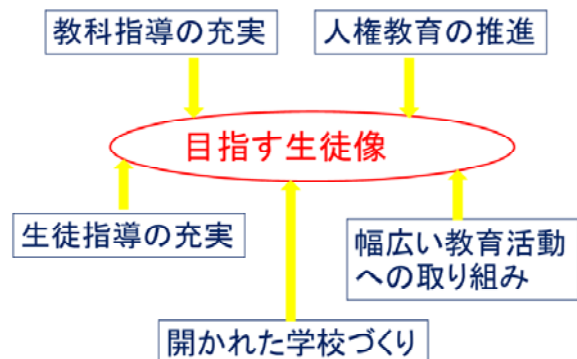


班活動や話し合い活動を充実させること

目指す生徒像

- ・学習の基礎基本を身につけている生徒
- ・考え、話し合い、行動できる生徒
- ・お互いを思いやり声を掛け合うことができる生徒
- ・基本的な生活習慣が確立された生徒

具体的な取り組み



生徒指導の充実

定期的な生徒集会の実施

学校行事で生徒を育てる



幅広い教育活動への取り組み 地域とつながる職場体験

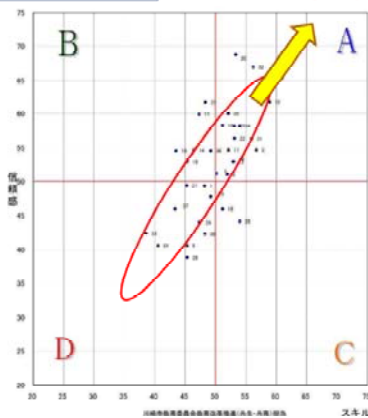


人権教育の推進



「かわさき共生 * 共育プログラム」への取り組み
年間計画に基づいて、
豊かな自分づくり
友だちづくり
仲間づくり
のために行動できるスキル
を学びます。

人権教育の推進 豊かな人間関係構築のために



開かれた学校づくり

- 小・中・高の連携
- ・授業の相互参観
- ・小学校への交流授業



開かれた学校づくり 学校ホームページの充実



開かれた学校づくり

- ① 学校だよりやホームページによる情報発信
- ② 地域の連携と教育力の活用
- ③ PTAとの連携
- ④ 小中の交流の推進
- ⑤ 学校教育推進会議による意見交換
- ⑥ 中高連携教育の推進

開かれた学校づくり

PTAとの連携
学校教育推進委員会での学校評価
を教育活動改善に生かす